



全体テーマ：びわ博30年「あい」があふれるミュージアムへ
－琵琶湖と人 これまでも、これからも－

START!

キックオフ宣言

1月

ナイトミュージアム、プレミアムナイトツアー
新ビワコオオナマズ水槽
公開

3月～
4月

ギャラリー展第一弾
「民俗学者・橋本鉄男が
見た近江」

3月～
5月

7月～

30周年記念事業の趣旨

琵琶湖博物館は、平成8年に「湖と人間」をテーマに設立され、令和8年には開館30周年を迎える。30年間の博物館活動とその成果を紹介し、琵琶湖の過去から現在までの変化について見つめ直し、琵琶湖とともに生きる未来を考える機会となる30周年記念事業を展開する。

30周年記念企画展示
(第34回企画展示)
「博物館はタイムマシン
－魚類学者がみた琵琶湖－」

そして
未来
へ

記念セミナー
2月～「琵琶湖の森と人間と」
3月 水鳥水槽等の
リニューアル

ギャラリー展
第二弾
1月～「(仮)発見
3月 をめぐる資料
の物語展」

びわ博
フェス
11月

国際シン
ポジウム
・記念式典
10月

DC連動企画・
特別ミュージ
アムツアー
10月

～11月

国際シンポジウムの開催 予算額：6,743千円

タイトル：「(仮)シーボルト江戸参府200周年記念 水辺環境の未来のために「記録」を残す」
200年前の自然史標本(シーボルトコレクション：オランダ等の海外の標本の里帰り展示)の研究から読み解く琵琶湖の生物相や系統進化、当時の環境と人々の暮らしを考えることで、現在、未来の琵琶湖を考える国際シンポジウムを開催する。

デスティネーションキャンペーン連動企画：琵琶湖博物館特別ミュージアムツアー造成事業予算額：12,000千円

JR デスティネーションキャンペーンのプレDC企画として、琵琶湖博物館ならではの特別コンテンツを核としたプレミアムツアーを専門企業とともに開発・販売し、全国に発信する。また、令和9年度のDC、令和10年度のアフターDCにおいても展開できる事業とする。

30周年記念企画展示の開催 予算額：16,383千円

タイトル：「博物館はタイムマシン－魚類学者がみた琵琶湖－」
国内外の魚類研究者が採集調査した琵琶湖の魚類相やその研究史を紹介。標本(シーボルトコレクション：オランダ等の海外の標本の里帰り展示)を通して、採集当時の琵琶湖の生態や環境を振り返り、現在、未来の琵琶湖を考える企画展示を実施する。

水鳥水槽等のリニューアル 予算額：13,644千円

水族展示室における琵琶湖地域を紹介する展示エリアの最後にあたる水鳥水槽を改修する。水辺に生息および水に潜る水鳥について、その生体と生息環境を紹介することで、琵琶湖の特徴やフィールドの魅力をさらにアピールする。展示内容を動画や保存処理した実物標本・模型などでさらに親しみやすい展示へ強化することでより琵琶湖博物館の魅力向上につなげる。

琵琶湖博物館30周年記念事業について (令和8年1月～令和9年3月)

令和8年(2026年)7月20日
琵琶湖博物館

これまでの事業



ナイトミュージアム
3月8日(日) 3,801人
プレミアムナイトミュージアム 3月20日(金)
予約販売分3日間で完売



ギャラリー展：民俗学者
橋本鉄男がみた近江
3月17日(火)～5月24日
(日)

新ビワコオオナマズ
水槽＆新コアユ水槽
オープン
4月11日(土)



30周年記念事業ロゴ
成安造形大学学生制作

開催中および今後の主な事業予定



7月18日(土)～11月23日(月)
第34回企画展示「博物館はタイムマシンー 魚類学者がみた琵琶湖ー」国内外から200年に亘る標本を借用し展示



同時開催：水族企画展示
「シーボルトの江戸参府と日本の淡水魚」



10月24日(土) 国際シンポジウム
「シーボルト江戸参府200周年記念 シーボルトコレクションから学ぶ水辺環境の未来のために“記録”を残すこと」



Daan Kok氏(オランダ、オランダ国立民族学博物館)、Esther Dondorp氏(オランダ、ナチュラリス生物資源センター)等をお招きし、開催予定

同時開催：30周年記念式典
・記念誌、記念文集を配布予定



○30周年記念拡大版びわ博フェス
(京都市・県観光政策局連携、草津市連携)

11月14日(土) 15日(日)
○ODC連携特別ミュージアムツアー

・ナイトミュージアムツアー(12月18日(金)～20日(土) 予定)
・湖底遺跡学芸員解説付き特別ツアー(10月22日予定) 等

○ギャラリー展第二弾「(仮) 発見をめぐる資料の物語展」

会期 1月～3月予定

○30周年記念セミナー「琵琶湖の森と人間と」

令和9年(2027年)2月予定

○水鳥水槽リニューアル 令和9年(2027年)3月予定

○琵琶湖博物館研究報告発行(2冊) 令和9年(2027年)3月予定

